

山口県立萩高等学校

学校概要

【学校教育目標】

- ・ 校訓「至誠」を基本姿勢とし、質実・自主・協同・創造の校風を築く
- ・ 知・徳・体の調和のとれた全人教育に努め、国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を養う

【設置学科】普通科、探究科（人文社会科学科、自然科学科）



研究テーマ

能動的に学ぶ意欲・探究活動に必要な技能知識を高める取組
～「総合英語」における英語プレゼンテーションを中心に～

指導計画

《教科・科目》英語（専門）・「総合英語」
《年次》1年次
《単元》「プレゼンテーション」（全19時間）

【研究実践において身に付けたい力】

- (1) 既習のレッスンからテーマを設定し、多角的に探究することができる。
- (2) プレゼンテーションにおける有効な英語表現を理解し、活用することができる。
- (3) 効果的なプレゼンテーションの手法を理解し、活用することができる。
- (4) 聴衆に向けて情報を発信することを通して、英語でコミュニケーションを図ろうとする。

時間	学習内容・学習活動
1~3	【ミニプレゼン①（6月）】 教科書 Lesson 1, 2「血液型」「カレー」からテーマを設定し、個人でプレゼンテーション
4~7	【ミニプレゼン②（8月）】 Lesson 5 から、テーマに基づいた理想の制服をイラストで表現し、グループごとにプレゼンテーション
8	【プレゼンテーション講座Ⅰ（9月14日）】 ・モデルプレゼンテーション ・“Presentation Tips” ・レポート作成
9	【ミニディベート（11月）】
10~15	【プレゼンテーション準備】 ・テーマ・リサーチクエスチョン設定、調べ学習 ・原稿作成、スライド作成 ・発表練習
16~17	【プレゼンテーション講座Ⅱ（1月14日）】 ・プレゼンテーション演習（リハーサル） ・レポート作成
18~19	【プレゼンテーション講座Ⅲ（2月12日）】 ・プレゼンテーション演習（発表） ・レポート作成

「主体的・対話的で深い学び」の視点

「個人で」→「グループで」
①「対話的な学び」の視点

大学講師による計3回の専門的指導による主体的な学びの促進
②「主体的な学び」の視点

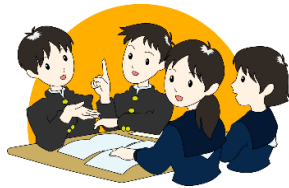
既習の内容を基にテーマ・リサーチクエスチョンを設定
→「理科」「家庭科」など教科横断的に探究
③「深い学び」の視点

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの生徒の変容

① 「対話的な学び」

グループでの調べ学習・スライド作成
・発表などとおして、
「他者と協力しながら課題に取り組む力」
が身に付いたと考える生徒の割合

【9月】52.5% → 【2月】62.5%



② 「主体的な学び」

大学教員による専門的な指導や、自らの
関心に基づいた調べ学習などとおして、
「自分の意思で決断し、行動する力」
が身に付いたと考える生徒の割合

【9月】10.0% → 【2月】37.5%



③ 「深い学び」

教科書で習った内容（「制服」「ゴリラ」「カレー」「血液型」など）から、自分の
興味・関心に沿ったテーマを選び、教科横断的に探究していく活動とおして、
「考える力」「自分の考えを他者に伝える力」「他者の考えを聞く力」
が身に付いたと考える生徒の割合

【9月】60.0% → 【2月】69.2%



プレゼンテーションを基盤とした教科横断的・協働的な学習と英語でのアウトプット

「2年次に行う探究活動の土台に」

実践研究の成果

- ◆ 2年次の探究学習につながるカリキュラムの構築を進めることができた。
- ◆ 高大連携等を活用し、教員の指導スキルの向上を図ることができた。
- ◆ 生徒の主体性・協調性等を高める学習指導について、実践を深めることができた。

生徒の感想



- ◆ グループの仲間と協力することの大切さを学ぶことができた。
- ◆ 自分の言いたいことを伝えることの難しさを実感した。
- ◆ ジェスチャーやアイコンタクトなどの表現の重要性を学んだ。